

平成 23 年 3 月 12 日発生
東日本大震災（長野県北部地震）

新潟県中魚沼郡津南町の被災状況 （6 月 30 日現在）



（写真：国道 405 号をふさぐ土砂くずれ）

津南町災害対策本部

目次

1. 地震の概況と本部等の設置状況	3
(1) 地震の規模	3
(2) 対策本部等	3
2. 被害の状況	3～9
(1) 人的被害	3
(2) 建物被害	3
(3) 道路状況	4
(4) ライフライン被害	5
(5) 避難所の開設と受け入れ状況	5
(6) 国県その他団体の職員支援	5
(7) 被害額一覧	6～9
(8) 文化財の被害	9
3. 災害応急対策	10～14
(1) 被災住宅及び宅地応急危険度判定	10
(2) 自宅以外への避難	10
(3) 被災廃棄物の処理	10
(4) 救援物資と義援金の受け入れ	10
(5) 炊き出しの状況	11
(6) 健康福祉対策	11～14
(7) 入浴支援	14
(8) ボランティアによる支援状況	14
4. 東北地方からの被災者対応	15
(1) 町の対応	15
(2) その他施設の対応	15
5. 復旧・復興に向けて	15～16
(1) 震災復興支援室の設置	15
(2) 国県への要望活動	15
(3) 激甚災害の指定	16
(4) 義援金	16
(5) 町の補助や被災者負担軽減措置	16

平成 23 年 長野県北部地震の被災状況

1. 地震の概況と本部等の設置状況

(1) 地震の規模

- ・ 発生時刻 3月12日(土) 午前3時59分
- ・ 震度 6弱
- ・ マグニチュード 6.7
- ・ 震源地 長野県北部 深さ8km
- ・ 余震(震度4以上) 3月12日(震度4(3回))
4月17日(震度5弱) 6月2日(震度4)

(2) 対策本部等

- ・ 町災害対策本部設置 3月12日午前4時30分
- ・ 災害救助法の適用 3月12日
- ・ 政府緊急災害対策本部設置 3月11日午後3時14分
- ・ 新潟県災害対策本部設置 3月12日午前3時59分
- ・ 激甚災害指定(本激) 3月13日
- ・ 被災者生活再建支援法の適用 3月25日(3月12日から)
- ・ 避難勧告 計4地区 8世帯 22人

避難勧告発令日時 避難勧告解除日時	理由	地区名	世帯数	人数
3月12日午前8:25 3月13日午後3:30	土石流の危険	辰ノ口	1	3
3月12日午前11:00 4月2日午後3:00	地滑り	田中	3	11
3月13日午前9:25 3月13日午後4:00	雪崩れの危険	結束	3	6
3月19日午後5:30 3月29日午前9:00	土砂崩れの危険	小島	1	2

2. 被害の状況

(1) 人的被害

- 軽症 27人(男:12 女:15)

(2) 建物被害(6月30日現在)

被害認定調査を4月18日~5月20日(21日間)実施。21日以降随時受付。

- 988棟(全壊42棟 大規模半壊15棟 半壊97棟 一部損壊834棟)

	住家	非住家	合計
全壊	6	36	42
大規模半壊	5	10	15
半壊	42	55	97
一部損壊	638	196	834
計	691	297	988

(3) 道路状況 (6月30日現在)

■ 交通規制

路線	被害の状況
国道 353 号 (辰ノ口)	5月12日 土砂崩落 5月27日から日中解除 (降雨量や余震等で、通行止めになることがある)
国道 405 号(小岡～樽田)	地震による被災 (道路崩落)
町道 亀岡中子線	亀岡坂 (雪崩の恐れ) 地震被害 (段差・クラック)

■ 冬期間閉鎖路線

路線	被害の状況
日出山前倉線	5月20日解除
寺石山伏山線	地震被害 (道路崩落)
押付溜野線	地震被害 (道路崩落)
新清水屈岨線	地震被害 (道路崩落)
田中上野線	地震被害 (道路崩落)

■ 解除路線

路線	被害の状況
国道 117 号	小下里地内 (雪崩、クラック 3.12AM7:30 解除)
国道 405 号	見玉～清水川原～大赤沢 (雪崩 3.12AM8:24 解除)
主要地方道 小千谷十日町津南停車場線	足滝スノーシェッド付近 (雪崩 3.12AM8:20 解除)
県道 加用今新田津南停車場線	加用～中子 (雪崩 3.12AM8:45 解除)
町道中子大谷内線	妙放牧場入口先 (雪崩 3.12AM7:40 解除)
町道反里赤沢線	上反里 (雪崩 3.12AM7:50 解除)
町道溜野線	上野～保養所 (雪崩 3.12AM8:00 解除)
町道中深見堂平線	深見坂 (早朝解除 3.12AM11:00 通行確認)
東秋山線	清水川原～見倉 (雪崩 3.12AM11:50 通行確認)
県道 結東上郷宮野原線	百ノ木～日出山 (雪崩処置) 3.12PM3:10 通行可能
主要地方道 小千谷十日町津南停車場線	田中～上野 (3.12PM7:00 片側交互通行 規制解除)
国道 353 号 (辰ノ口)	豊原トンネル手前 (国道、船繋川埋没)
町道 和津久利線	和津久利坂 (雪崩の恐れ) 3.14AM 解除
町道 芦ヶ崎中央線	県道～小島信愛宅 (雪崩の恐れ) 3.14AM
町道 所平大場線	所平～大場 (雪崩の恐れ) 3.14AM
国道 405 号(清水川原)	落石 (通行止め 3.15PM7:35 解除 3.19PM7:00)
国道 405 号(清水川原)	落石 (通行止め 3.21AM9:50 解除 3.21AM11:30)
町道 割野神社線	作業場が町道側に倒壊の恐れ (3.28 解除)
町道 小岡巻下線	上法の崩壊の恐れ (一部) 4.1 解除

(4) ライフライン被害

- ガス（町内の大半がプロパンガスを使用しているため不明）
- 断水：15 集落 464 世帯（最大） 3 月 12 日～21 日（10 日間）
給水車対応 断水 5 集落（田中・寺石・足滝・反里・加用）
濁り 3 集落（穴山、上郷逆巻、羽倉）
※給水車は、魚沼市役所に 12 日～18 日までの 7 日間応援いただいた。
※19 日～21 日までの 3 日間は、町が軽トラックにタンクを積み対応した。
- 電気 停電：上郷地区 1167 戸（最大）3 月 12 日 午後 3 時 51 分完全復旧

(5) 避難所の開設と受け入れ状況

町が指定避難所としている小中学校の体育館すべてにおいて、防音ボードの落下があり、危険なため立ち入り禁止の措置をとった。特に被害の大きかった上郷地区においても、小中学校の被害が大きく、住民は集落公民館等を避難所とした。

- ピーク時 12 か所 約 740 人 18 日午前 10 時 40 分解消

	避難所	解除日時		避難所	解除日時
1	相吉公民館	3/13 7:32	7	ニュー・グリーンピア津南	3/14 17:00
2	文化センター	3/13 8:35	8	小下里公民館	3/14 17:00
3	辰ノ口公民館	3/13 16:50	9	反里公民館	3/14 17:00
4	寺石公民館	3/13 17:50	10	結東克雪センター	3/14 17:10
5	外丸ふれあいセンター	3/14 17:00	11	大井平公民館	3/15 17:30
6	役場庁舎	3/14 17:00	12	宮野原公民館	3/18 10:40

- 応急仮設住宅の建設
なし

(6) 国県その他団体の職員支援

- ・ 魚沼市役所（給水、延べ 14 名：3 月 12 日～18 日）
- ・ 町消防団員 3 月 12 日～18 日（延べ 647 名：ピーク 12 日 371 名）
- ・ 消防南分署 3 月 12 日～14 日延べ 29 名 以降日 5 名体制
- ・ 新潟県建築士会延べ 37 名（応急危険度判定）
- ・ 新潟県職員 10 名（応急判定）
- ・ 三条市 4 名長岡市 2 名柏崎市 4 名上越市 4 名（応急判定）
- ・ こころのケアセンター（新潟・小千谷・柏崎）の専門員（健康相談）
- ・ 十日町保健所の保健師・精神保健福祉士（健康相談）
- ・ 十日町市在宅保健師 延べ 161 人（健康相談）※半日で 1 人
- ・ 新潟県建築士会十日町支部 延べ 45 人（被害認定調査）
- ・ 県税部(南魚沼、十日町、長岡、上越) 延べ 100 人（被害認定調査）

(7) 被害額一覧 (推計を含む。被害額単位：千円)

被害総額

総務課関係被害	6,420
消防関係施設被害 (十日町広域事務組合分)	3,263
集落関係被害	27,298
税務町民課関係被害 (津南地域衛生施設組合分)	161,018
福祉保健課関係被害	59,210
病院関係被害	5,268
教育委員会関係被害	93,036
建設課関係被害	1,780,255
地域振興課関係被害	396,160
合計	2,531,928

(内訳)

■ 総務課関係被害 計 6,420 千円

被害種目	箇所数	被害額
大会議室天井パネル落下	1	20
5階井水高置水槽水漏れ	1	2,711
結東克雪管理センター水道管破裂	1	100
バス車庫棟裏の石垣崩落	1	168
段野温泉配管破損	1	341
岡の倉庫前小水路石垣崩落	1	不明
段野温泉国道沿配管破裂	1	不明
結東克雪センター浄化槽	1	不明
広報無線機 (戸別無線機)	267	2492
広報無線局 (マウンテンパーク)	1	588

■ 消防関係施設被害 (十日町広域事務組合分) 計 3,263 千円

被害種目	箇所数	被害額
防火水槽・器具置き場	14	3,263

■ 集落関係被害 計 27,298 千円

被害種目	箇所数	被害額
公民館	34	12,667
神社	35	12,147
その他	21	2,484

■ 税務町民課関係被害（津南地域衛生施設組合分） 計 161,018 千円

被害種目	箇所数	被害額
最終処分場	1	116,436
ごみ処理経費	2	42,002
し尿処理	1	2,580

■ 福祉保健課関係被害 計 59,210 千円

被害種目	箇所数	被害額
町立保育園	7	3,860
クアハウス・サンビレッジ	1	9,600
介護関係施設		45,600
そだき苑	1	150

■ 病院関係被害 計 5,268 千円

被害種目	被害額
旧・新館繋ぎ目亀裂	290
新館階段室壁亀裂	835
屋上エレベーター棟亀裂	3,453
その他（水漏れ等）	109
電気関係	350
漏油等	231

■ 教育委員会関係被害 計 93,036 千円

被害種目	箇所数	被害額
外丸小学校（授業再開 3月14日）	1	15,000
上郷小学校（授業再開 3月15日）	1	22,000
芦ヶ崎小学校（授業再開 3月14日）	1	11,000
中津小学校（授業再開 3月14日）	1	1,600
津南小学校（授業再開 3月14日）	1	15,600
上郷中学校（授業再開 3月16日）※	1	14,400
津南中学校（授業再開 3月14日）	1	1,500
文化センター（10日間休館）	1	100
総合センター（体育館）（9日間休館）	1	3,600
なじょもん（通常営業再開 3月15日）	1	599
土器破損	40	4,000
民俗資料館（通常営業再開 4月1日）	1	977
美雪町倉庫	1	510
社会体育施設（ナイター照明等）	1	150
クロスカントリーコース	1	2,000

※津南中学校校舎で授業再開

■ 建設課関係被害 計 1,780,255 千円

(1) 町道・上下水道等被害

被害種目		箇所数	延長/面積	被害額
町道		140	4100m	251,682
林道		26	750m	41,000
町営住宅		82戸	—	3,019
水道	町営水道（簡易水道）	38	—	6,556
	町営水道（小規模水道）	6	—	981
	組合営水道（簡易水道）	3	—	656
	組合営水道（小規模水道）	—	—	—
	水道未復旧	2	—	589
下水道関係	下水道（管路）	—	269m	34,338
	下水道（処理場）	1	—	1,000
	下水道（その他管路）	1	—	2,000
	農排（管路）	—	2,637m	357,034
	浄化槽（合併・単独）	4	—	5,400

(2) 農地・農業用施設被害（建設課対応分）

被害種目		箇所数	延長/面積	被害額
農地	田	102	46.9ha	422,000
	畑	163	—	327,000
農業用施設	ため池	12	—	70,000
	頭首工	6	—	7,000
	水路	90	—	136,000
	揚水機	5	—	16,000
	農道	50	—	98,000

■ 地域振興課関係被害 計 396,160 千円

(1) 観光・畜産・商工等被害

被害種目	箇所数	被害額
スキー場 ゲレンデ 土砂崩落 8,000 m ³ 流出 4,000 m ³		不明
畜産	15 件	27,745
きのこ	16 件	18,833
農業施設	18 件	12,220
観光施設	7 件	120,102
商工施設	89 件	188,400

(2) 農地被害 (地域振興課対応分)

被害種目		箇所数	面積	被害額
田	畦畔崩落	52	35,042 m ²	15,940
	クラック		19,166 m ²	
	田面沈下		30,759 m ²	
畑	畦畔崩落	9	2,823 m ²	2,980
合計		61	87,790 m ²	18,920

※【田】地区別 (上段: 工区数) と (下段: 被害額)

下船渡	外丸	上郷	芦ヶ崎	中深見	秋成	合計
5	5	32	5	1	4	52
1,790	1,500	9,550	1,200	400	1,500	15,940

※【畑】地区別 (上段: 工区数) と (下段: 被害額)

下船渡	外丸	上郷	芦ヶ崎	中深見	秋成	合計
1	4	4	0	0	0	9
400	1,500	1,080	0	0	0	2,980

(3) 農業用施設被害 (地域振興課対応分)

被害種目	箇所数	被害額
用排水路	18	5,350
農道	9	2,250
パイプライン	5	1,080
ため池	3	1,060
給水栓沈下	—	200
合計	35	9,940

※地区別箇所数

下船渡	外丸	上郷	芦ヶ崎	中深見	秋成	合計
0	14	11	8	2	0	35

(8) 文化財の被害状況

土器破損 40 点

3 災害応急対策

(1) 被災住宅及び宅地応急危険度判定

3月13日～14日にかけて19集落548世帯の応急危険度判定を行った。

判定にあたっては、新潟県建築士会中魚沼支部ほか、県内支部から延べ37名に協力いただいたほか、新潟県職員10名三条市4名長岡市2名柏崎市4名上越市4名の計61名から協力いただいた。

■ 応急危険度判定地区

亀岡・大井平・宮野原・子種・逆巻・足滝・羽倉・越手・寺石・今井・小下里・灰雨・穴山・上野・田中・反里・押付・小島・巻下

赤		黄		緑	
住宅	その他	住宅	その他	住宅	その他
31	5	154	4	377	10

(2) 自宅以外への避難

住宅被災や、避難勧告により自宅に戻れない帰宅困難者に対し、公的施設（空き教員住宅・医師住宅）を斡旋した。その他、親戚宅や民間アパートなどに住み自宅以外へ避難している住民が出た。

■ ピーク時 18世帯63人（5月31日現在：12世帯44人）
（6月30日現在：10世帯41人）

(3) 被災廃棄物の処理

①町が加入しているゴミ処理施設である津南地域衛生施設組合に被害はなかったため、翌日から通常営業を再開した。また震災ごみの受け入れについては、無料とし、4月中休日も営業を行った。6月以降は、「り災証明提示者」のみ無料受付。なお、5月2日には震源地に近い最終処分場の取水ピット周辺より処理前の排水が漏水する事故が発生。5月3日には応急工事が完了し、水質検査の結果問題ないことを確認したが、受け入れは中止している。

②被災住宅の解体廃棄物については、指定業者登録を行い、4月1日から持ち込みを開始した。

(4) 救援物資と義援金の受け入れ

① 救援物資

新潟県をはじめ、小千谷市、刈羽村等の自治体をはじめ県内外の団体から食料等の支援をいただいた。また、友好交流都市の韓国驪州郡からも集まった義援金で購入した屋外用テント5張りをいただいた。

■ 29団体（個人） 主食：4,539 副食：935 水：6,396リットル

② 義援金

3月25日から津南町長野県北部地震災害義援金の口座を開設した。

■ 191件 18,901,320円（平成23年6月30日現在）

(5) 炊き出しの状況

① 災害対策本部による食糧等の提供 (3月12日～15日)

飲料水：20集落 食糧：17拠点

品目	12日	13日	14日	15日	合計
水 500ml	3,624	906	168	96	4,794
水 2㍓	0	8	0	42	50
水 12.5㍓	0	56	0	0	56
ポリタンク	18	0	0	0	18
おにぎり	1,278	2,015	114	29	3,436
パン類	287	0	0	0	287
カップ麺	0	331	0	0	331
その他	686	12	0	0	698

② その他の団体による炊き出し給食サービス

避難所を設置した集落では、集落や自主防災組織による炊き出しが行われた。

(6) 健康福祉対策

■ 安否確認

1. 災害時要援護者の安否確認

① 未明～午前6時までに地区担当民生委員に安否確認の要請連絡 (37名)

② 午前7時から随時確認状況報告が入る (390名)

重度の身体的被害者なし

2. 障害者の安否確認

施設入所者及び在宅障害者の一部(重度・視力聴力障害)の確認を3月12日午前8時までに終了(一部民生委員の確認と重複)

3. 保健師による安否確認

・ 電話確認 (3月12日)

① 透析者の安否・透析通院曜日の確認 15名

⇒ 飯山日赤通院者の小千谷病院紹介 2名

② 在宅酸素利用者の安否、予備ボンベの確認 22名

③ 難病患者で同意ありの人の安否確認 19名

④ 母子、精神障害者など気になる人の安否確認 35名

・ 家庭訪問

① 難聴で連絡のつかない人 1名

② 民生委員から在宅の寝たきり者への訪問依頼 2件

⇒ 1人は施設に緊急避難。

③ 生活保護の安否確認 13世帯

■被災者支援・健康調査

1. 被災家屋の生活維持片付け要請者の把握と対応

- ① 12日午後4時から片づけ支援を必要とする希望者の確認を民生委員に依頼
- ② 希望者報告を3月13日午前中にいただくよう依頼
- ③ 支援要請集計数 14世帯
- ④ 3月14日(月)福祉保健課職員が片付け支援訪問する
一班3人体制で4班にて対応
- ⑤ 片付けで発生したゴミは午後配車し処理場へ搬入し完了
- ⑥ 12日・13日の土日休日で親戚等の手伝いが入っており作業は軽度であった

2. 自主避難所の健康相談

3月12日(午後)と13日(午前)の両日、避難所9カ所(相吉・外丸・辰ノ口・上野・寺石公民館・寺石集落内テント・大井平・宮野原・結東)延べ234人の面談を実施。主に高齢者で乳幼児は16人。保健師と栄養士2人1組で避難所を巡回対応した。(健康対策のパンフも配布)

3. 家屋の被害の大きかった独居、高齢者世帯訪問

3月15日～16日にかけて保健師2名1組で18名に面談。

4. 訪問健康調査の実施

被害の大きかった上郷、外丸・三箇、芦ヶ崎地区を対象

- ① 調査期間 3月24日～4月15日の16日間
- ② 対象 1,399世帯 4,406人。
うち、面接世帯 934世帯 面接者 1,168人に対し訪問健康調査を実施。
- ③ 調査スタッフ
 - ・ ころのケアセンター(新潟・小千谷・柏崎)の専門員(精神保健福祉士)
 - ・ 十日町保健所(保健師・精神保健福祉士)、津南町役場保健師、津南町在宅看護師、十日町市在宅保健師 実22人 延べ161人(半日1人として)
 - ※雇い上げ者の賃金はころのケアセンターが負担
- ④ 調査結果から見えてきたこと
 - ・ 中越地震でころの影響を受けた人が再燃して不安定が増幅した人がある。
 - ・ 各年代に気になる人がある。個別支援の必要な人が103人。
 - ・ 緊急で医療機関につなげた人は数人。(精神科と内科)。他の介護施設の紹介者もいた。精神科医の相談会を保健所の協力で3月中に2回開催(母子から高齢者の相談者ある)
 - ・ 3月中の訪問では訴えの多い症状として不安(約1割)、不眠(約3%)、体調不良(約2%)、その他心臓がドキドキする、イライラ、血圧が上がったなどがあった。(調査の詳細は小千谷ころのケアセンターが現在集計中)

5. 母子支援

- ① 3月18日から22日に保育園児・保護者対象にアンケート調査実施
 - ・小千谷こころのケアセンター専門員による2保育園の巡回により不安定な園児や保育士への支援
 - ・アンケート結果により、相談希望者に対し、精神科医による精神保健相談の実施（保健所主催）
- ② 3月25日 相談者4名
- ③ 3月29日 新入園児対象にアンケート調査実施（各園で新入園児面接）
- ④ 3月30日 相談者5名（一般含む）
- ⑤ 4月1日 保育園と子育て支援センター職員対象にミニ研修会実施。講師はケアセンター専門員
- ⑥ 4月11日～13 震災後1カ月目に再度アンケート調査実施
- ⑦ 4月27日～6月2日 ケアセンター専門員による7保育園巡回相談実施（地区担当保健師同行）

6. その他の被災によるこれまでの相談状況（3月12日～5月1日）

①乳幼児に関する相談	33件
②妊産婦に関する相談	2件
③心身障害に関する相談	62件
④生活習慣病（血圧など）に関する相談	16件
⑤高齢者に関する相談	71件
⑥精神に関する相談	51件

■福祉関係施設の確認

1. 保育園被害の確認

- ① 保育園損害状況確認作業（7園・保育士手分け・12日午前6時から）
- ② 上郷保育園の水道破裂対応清掃と業者施設点検（全保育士13日午前中）

2. 保育の休止・実施（3月14日）

- ① 上郷保育園のみ休園とし施設の点検と補修をする
- ② 上郷保育園の保育希望保護者への代替保育としてひまわり保育園での受入れ（2名）
15日から全園平常保育（上郷保育園の登園者は33名中16名登園）

3. 町内介護施設の被災状況

①みさと苑（老人保健施設）：実員 110 人 地震後の避難あり

被害状況	対応
スプリンクラー誤作動 水漏れ、厨房施設被害	周辺施設に避難（南魚沼市 51 人・十日町市 20 人・小千谷市 7 人）レインボー 8 人、帰宅 5 人。 入所者のうち 12 人が発熱し入院（津南病院 5 人、上村病院 7 人）

②グループホームひまわり（認知症グループホーム）：実員 15 人 地震後の避難あり

被害状況	対応
なし	周辺施設に避難 （GHつどい 12 人・自宅 2 人・入院中 1 人）

③リバーサイドみさと（ケアハウス）：実員 48 人 地震後の避難あり

被害状況	対応
給水施設故障 水漏れ、厨房施設被害	周辺施設に避難（家族宅 13 人・恵福園なかつ 20 人・その他特養等 15 人）

④恵福園（特別養護老人ホーム）：実員 87 人 地震後の避難なし

被害状況	対応
建物のつなぎ目に被害 水漏れ、暖房配管設備故障	施設内で移動した。

（7）入浴支援

町内 6 施設（ニュー・グリーンピア津南、綿屋旅館、竜神の館、ケアハウス津南、リバーサイド津南、そだき苑）から、被災者への入浴支援を行っていただいた。地震 2 日目には、被害が軽微だったニュー・グリーンピア津南と綿屋旅館から、受け入れ可能との申し出を受け、被災者向けの入浴支援を開始した。その後、修理が終わった温泉施設から、被災者への無料開放を 5 月末まで行っていただいた。なお、対象は、町内だけでなく、十日町市、栄村も対象とした。

■被災者入浴支援実績

	津南町	栄村	十日町市	合計
3 月	2,345	2,133	84	4,562
4 月	1,283	1,086	35	2,404
5 月	698	434	0	1,132
計	4,239	3,653	119	8,098

（8）ボランティアによる支援状況

・災害ボランティア

ボランティアの申し込みが十件程度あったが、今回は特に活動の依頼はしなかった。

4 東北地方からの避難者対応

前日に起こった東北地方太平洋沖地震による原発被害により福島県から、新潟県に避難をしてきた。津南町にも親戚や実家、関連企業を頼って避難者が訪れた。町としては、公的施設を提供する等の支援を行っている。

■平成 23 年 6 月 23 日現在 10 世帯 15 名が滞在。

(1) 町の対応

- ①農業経営を希望する被災農家を 10 世帯程度の受け入れ実施を発表。
- ②被災農家に農地と住居を 5 年間無償で貸し付ける。

(2) その他施設の対応

- ①ニュー・グリーンピア津南が避難所として、避難者を受け入れ。

5 復旧・復興に向けて

(1) 震災復興支援室の設置

震災復興対策として、役場退職者を臨時職員として雇用し「震災復興支援室」を 4 月 4 日から 6 月 30 日まで設置した。

震災の個々の案件は、担当が複数の課をまたがることが多く、それらの総合的な相談窓口として利用された。

■相談件数

4 月 1 日当たり：来庁 10～15 人、ほか電話相談数件 ※休日は、半数程度

5 月 1 日当たり：来庁 5～10 人、ほか電話相談数件

6 月 1 日当たり：申請書類の確認、ほか来庁、電話相談。

■訪問被害相談

4 月 5 日から被害の大きかった上郷・外丸地区 21 集落 770 世帯を 2 名 2 班体制で訪問し、被害状況の確認と相談を受けた。※留守宅には、不在票を残した。

(2) 国県への要望活動

3 月 17 日 自民党新潟県選出参議院議員団視察

3 月 23 日 風間直樹参議院議員視察

4 月 13 日 農林水産省・文部科学省に東日本大震災の被災者支援に関する要望書提出

4 月 21 日 民主党新潟県議団被災地視察受け入れ

4 月 28 日 自民党新潟県議団被災地視察受け入れ

5 月 1 日 筒井農林水産副大臣に要望書を提出

5 月 1 日 新潟県農地部長に要望書を提出

5 月 4 日 仙谷内閣官房副長官に要望書を提出

5 月 26 日 公民館・神社・コミュニティ被災施設の県担当者視察

(3) 激甚災害の指定

東日本大震災の激甚災害の指定とともに、長野県北部地震も激甚災害に指定された。

(4) 義援金

県内はもとより、全国から津南町にも義援金が送られた。また東日本大震災に含まれたことから、国、県からの義援金を加えた1次配分を行った。

義援金総額 18,901,320 円 (町単独 6月30日現在)

1次配分 14,960,000 円 (国・県・町合計)

全壊 50万 半壊以上 26万

(5) 町の補助や被災者負担軽減措置

①半壊以上の被災家屋の解体費～処分費までを公費負担。

②温泉無料開放施設への入浴料補助

③一部損壊を対象とした、被災家屋の修理費補助を実施

④医療・介護の支援

・町国民健康保険に加入し、次に該当するかたの一部負担金等を免除。

・町介護保険の認定者のうち、介護保険サービスを利用され次に該当するかたについて一部負担金等を免除。

・新潟県後期高齢者医療制度も町国保と同様の支援措置を実施。

○免除の要件 ・住宅が全半壊したかた

・主たる生計維持者が事業を廃止または休止したかた

・主たる生計維持者が失職し、現在収入がないかた

⑤住宅再建に必要な借入資金の利子補給を実施

⑥被災者への生活再建資金の貸付制度を開始

⑦住宅応急修理制度 (6月30日現在：26件受付)

⑧被災者生活再建支援制度 (国) (6月30日現在：9世帯申請済)

⑨被災者生活再建支援制度 (県・町) (6月30日現在：40世帯受付)